

## 病床機能の転換等について〔橋本保健医療圏構想区域 協議の場〕

医療機関名 山本病院

現在の病床機能【概要】 <令和元年9月現在>				
機能区分	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	病床数	稼働率(注)
高度急性期				
急性期	1	急性期一般入院料6	49	78.1%
回復期	1	回復期リハビリテーション病棟入院料3	35	70.3%
慢性期				
計	2	—	84	74.9%
(備考)				

(注) 平成29年7月1日～平成30年6月30日までの病床稼働率 (H30病床機能の現状等アンケートより転記)

現在の病床機能【詳細】
<p>○急性期病棟 入院患者については消化器系が多く、特に肝胆膵の疾患に対する検査・治療を積極的におこなっています。また、超音波内視鏡を導入し膵癌の早期発見や瘻孔形成術、他にも胃・大腸の粘膜下層剥離術などを3名の消化器内科常勤医師を中心として実施しております。</p> <p>そして、社会医療法人の使命である救急医療で地域に貢献するため常時入院可能な救急専用病床を確保しています。また、24時間365日消化器内科医師による緊急消化管内視鏡検査及び止血処置などを行う体制を整えています。</p> <p>○回復期病棟 入院患者については脳血管疾患の治療後、骨折後、肺炎の治療後、手術時間が長く侵襲の大きい術後の患者などの在宅復帰もしくは施設入所に向けてのリハビリを目的として転院を受け入れ、ADL改善に向けてのリハビリ、栄養・清潔・排泄等生活の援助、リハビリを意欲的に取り組めるよう精神面の援助、退院支援を行っています。</p>

転換の予定 令和元年度中				
機能区分	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	病床数	
高度急性期				
急性期	1	急性期一般入院料6	43	
回復期	1	回復期リハビリテーション病棟入院料3	35	
		地域包括ケア入院医療管理料	6	
計	2	—	84	
(転換の概要) 急性期病棟の一部を地域包括ケア入院医療管理料を算定する病床に転換				

転換後における病院のあり方
<p>&lt;地域密着型協力病院指定申請の予定の有無等&gt;</p> <p><input type="checkbox"/> 有      <input type="checkbox"/> 無      <input type="checkbox"/> 検討中      <input checked="" type="checkbox"/> 指定済み</p>